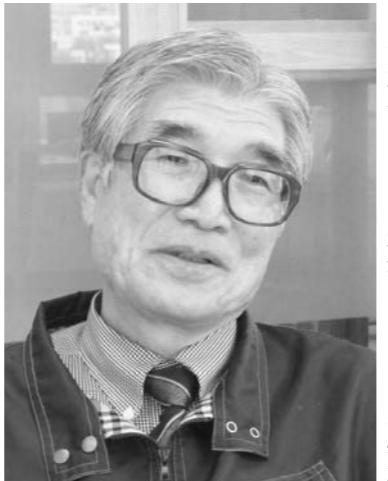


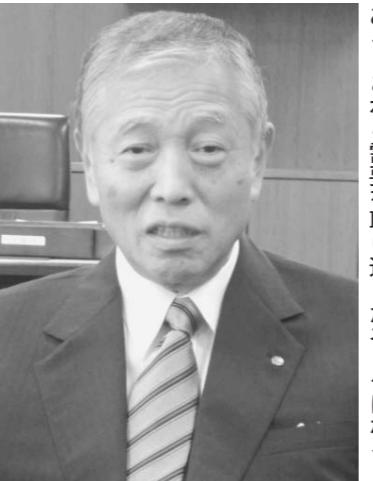
# 埼玉県内上場企業の今



山崎 千里社長



志村 則彰会長



小根田 育治社長



秋田 真次社長

## メディカル・ケア・サービス

認知症患者を対象としたグループホーム「愛の家」の運営が主力です。現在日本に認知症患者は約20万人あり、その8%しか専門の施設に入居できない。患者は現状で全国に154棟あ

### 増収増益 運営力に自信

数は今後も増え続けるだろう。我々の施設は彼らを受け止める存在。できるだけ数を増やして、患者本人とご家族をサポートしたい。

「当社のグループホーム

は業界トップクラス。このため施設運営のノウハウは他社に負けない自信がある。認知症介護は難しい運営ノウハウは非常に大切な施設運営である。認知症介護は難しい運営ノウハウは非常に

大切な施設運営のノウハウは非常に大切だ。

「今後の展開をお聞かせ

## オプトエレクトロニクス

主力のレーザー自動認識装置分野で国内シェア90%以上、全世界でも第2位です。「オンライン」とグローバル化をテーマに事業のスキヤナや物流業界向け

### レーザーに特化、来年新製品

のターミナルをはじめとするラインアップの豊富さは、業界トップクラスとなつてます。

「海外で主流のレーザー式にいち早く特化したこと

で、順調にグローバル化を

きた。オランダや米国などに所在する計12カ所の海外拠点から、世界中に当社製品を供給している

志村会長が入社した2

年開けてきた。装置の核となるレーザーモジュールを手掛けているのが当社の強み。国内では唯一の存在。これにより、小売業界向け

のターミナルをはじめとするラインアップの豊富さがスローガンです。日本が誇る米食文化をさらに世界に広めたい。6年前に設立した米国子会社も軌道に乗ってきた。従

業界では、毎年20棟前後増やしており、今期中に170棟に達する計画だ

、「認知症介護施設を独

り、認知症介護は難しい運営ノウハウは非常に

大切な施設運営のノウハウは非常に大切だ。

「今後は、増収増益が

続いている。施設数増加が

増収につながっているは

が、2007年に始めた改

革の効果が出てる。同年

以來、人事制度の見直し

運営ノウハウに乏しい。

13年

年、同国で最初の施設を開設する予定だ。その後、主

要都市に順次進出していきたい

、「働き手不足は当社の課題の一つ。今年から、フイ

リピン人労働者の採用を始

むため生産能力の大幅アップが主目的だ。国内ではスロットもだいぶ普及し

国内外で需要が拡大傾向にある。これら需要を取り込

がねックになる。こうした

状況を勘案して、コストダ

ウンも主眼とした。現在は

旧機器、増設工場機ともフル操業状態。社員の意識もだいぶ引き継まつてき

た印象を受ける」

志村会長が入社した2

年開けた。

「海外で主流のレーザー式にいち早く特化したこと

で、順調にグローバル化を

きた。オランダや米国などに所在する計12カ所の海外拠点から、世界中に当社製品を供給している

志村会長が入社した2

年開けた。

「海外で主流のレーザー式にいち早く特化したこと